

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

## 2. 分野等別状況 (1)国際戦略総合特区(1/7)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
グリーンアジア国際戦略総合特区(福岡県等)	正	A 5.0	A 5.0  進捗度 ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高 144%	B 4.2  規制の特例等 ・外国人招聘に係る手続きの簡素化等  財政支援等 ・社会資本整備総合交付金等  地域独自の取組 ・不動産取得税免除等	+0.67	<p>・全体として計画はよくまとまっており、目標も明確。取組の方向も的確(※1)で、大きな成果が期待される。</p> <p>・初年度としては着実に成果を蓄積していることが把握(※2)できる。すでに海外にも成果を紹介し始めている記述(※3)も見られ、評価できる。</p> <p>※1: 長引く円高やデフレ等で景気が低迷していたにもかかわらず、総合特区の税制・財政・金融支援措置を活用するとともに、地域独自の取組として不動産取得税の課税免除(福岡県)や固定資産税等の課税免除(北九州市・福岡市)をはじめ、財政・金融支援等も充実させたことにより、環境対応車・パワー半導体・レアメタルリサイクル・スマートコミュニティ等に関する開発・生産拠点化等の設備投資が急速に進展した結果、300億円を超える設備投資及び300人を超える雇用が創出された。</p> <p>※2: 当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高(H24目標)0.7兆円、(実績)1.0兆円、進捗度144%</p> <p>※3: ・タイ工業省工業局と環境関連企業の同国進出を支援する協定を締結(平成24年8月) ・インドネシア・スラバヤ市と「環境姉妹都市締結に関する覚書」を締結(平成24年11月)</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 \*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。  
(注)「総合評価」は5.0を上限とする。